



特集 公×民でつくる「ずっと元気な山口」

- 市政トピックス
- 県央連携都市圏域の魅力を紹介「山口ゆめ回廊」
- 21 地域リレーコラム
- イベントカレンダー

2
6
7
7
8

公×民でつくる「ずっと元気な山口」



全国的に人口減少や少子高齢化などが進む中、地域社会の課題解決や地域経済の活性化を図るためには、行政のみで対応するのではなく、さまざまなノウハウやネットワークを有する大学や企業といった、多様な主体と連携する、公民連携の取り組みが必要になっています。

本市ではこれまで、市内の大学や企業等との連携協定の締結や産学金官が一体となった「やまぐち地域共創プラットフォーム」の設置、企業人材の受け入れなど、さまざまな公民連携の取り組みを通じ、市民サービスの向上や社会課題の解決等を進めてきました。

公民連携推進室を設置し、 新たな取り組みを進めています



公民連携推進室では、従来の連携の取り組みに加え、企業等からの提案を一元的に受け付けるワンストップ窓口の設置や、成果運動型民間委託契約の手法を用いた実証事業の実施、ふるさと納税制度を活用した市民が主体的にまちづくり等に参画できる仕組みの構築など、公民連携の新たな取り組みを進めています。

次ページから、具体的な取り組み事例をご紹介します。

☎ 公民連携推進室 083・934・2728

大学等との連携

本市には、大学をはじめとする高等教育機関が集積し、多くの学生が学び、生活しています。本市では、こうした「学都山口」の特性を生かし、学びのまちづくりによる人材育成を図るとともに、地域課題の解決や魅力的なまちづくりを進めています。

学生によるまちの魅力発信

本市では、市内に立地する山口大学、山口県立大学、山口学芸大学および山口芸術短期大学と包括的連携・協力に関する協定を締結し、連携してさまざまな活動を行っています。

令和6年度からは、大学生に「若者目線で、地域資源の再発見」をテーマに、ショート動画を制作していただき、山口市公式YouTubeチャンネル「やまぐちちゃんねる」に掲載しています。

令和7年度には、学生主体のコンテスト「Y・11大学グランプリ」が開催され、市内の大学生から、「観光」「歴史」「市政」等のテーマで、計33本の動画を応募いただき、「やまぐちちゃんねる」に掲載しました。そのうち、各テーマの再生回数が多かった動画について、プレゼンテーションと上映、審査を行いました。



学生たちは、動画制作を通して、若者目線で幅広い世代への情報発信に取り組んだほか、本市の魅力を再認識し、本市への愛着を深めていました。



▲動画の閲覧
はこちらから

まちなかのにぎわい創出

市内の大学や産業界、金融機関、本市で構成する「やまぐち地域共創プラットフォーム」を令和4年度に設立しました。このプラットフォームのプロジェクトの一つとして、地元企業や大学生をはじめとした若者等の参画による、市内のにぎわいや交流創出の取り組みを進めています。

この取り組みの一環として、令和6年度から、山口商工会議所が中心となり、本市がクリスマス市となる12月に、中心商店街において「クリスマスマーケット」が開催されています。

このイベントには、市内事業者や商店街の店舗と一緒に、市内の大学生も参加しました。学生は、イベントの運営補助や、ステージでのダンスや演劇などの披露、クリスマスらしいハンドメイド雑貨等の販売、子ども向けクイズラリー等のワークショップを実施し、イベントを盛り上げました。



今年度のイベントには、約1万8千人が来場し、市内事業者や大学生などの若者の参画により、まちなかに新たなにぎわいや交流が生まれました。

企業との連携

本市では、教育、福祉、防災等のさまざまな分野について、市内外の企業等と連携協定を締結し、協働で取り組みを進めています。

ファーストリテイリングとの取り組み

本市は、令和5年度に株式会社ファーストリテイリングと包括連携協定を締結し、さまざまな取り組みを行っています。

その取り組みの一つとして、これまで市内の公立小中学校延べ19校で、「届けよう、服のチカラプロジェクト」を実施しました。本プロジェクトでは、児童・生徒が、ファーストリテイリングの社員から服の持つ力や難民問題について学んだ後、着なくなった服を回収し、難民や避難民などに届けます。

児童・生徒が社会課題への理解を深めるとともに、「身近に参加できる社会貢献活動を知る」ことを目的に実施しており、地域の方にも協力いただき、たくさんの服が集まりました。

また、ユニクロ女子陸上部の選手による、ランニング教室も市内の小中学校で開催しました。選手から、学年や発達段階に応じた走り方のコツを直接教わることで、児童が体を動かす楽しさを学ぶとともに、地域内の企業と児童の貴重な交流の場となりました。



▲令和7年度に佐山小学校で実施したランニング教室の様子



▲令和6年度に白石中学校で実施した「届けよう、服のチカラ」プロジェクトの様子

企業からの専門人材の派遣

本市では、「地域活性化起業人」などの国の企業人材派遣制度等を活用し、一定期間、企業から派遣された社員の方々に、市の業務に従事していただいています。企業人材を職員として受け入れることで、外部の視点や専門的な知見、ノウハウを生かした本市の課題解決や市民サービスの向上、地域活性化が図られています。

現在、5社から企業人材を派遣していただいており、農山村エリアの活性化や防災、デジタルなどの幅広い分野において活躍されています。



▲地域課題の一つである、草刈りの作業負担軽減のため、派遣者が各種実証を進めるリモコン草刈機

企業からの人材派遣状況（令和7年12月時点）

派遣元企業名	派遣者名	主な活動内容	着任日
株式会社アイシン	後藤 浩次	阿東地域の課題解決	R5.9.1
株式会社JTB	眞田 直也	観光客誘致	R7.4.1
中森農産株式会社	中田 紘平	阿東地域の農業振興	R7.4.1
NTT西日本株式会社	藏重 毅	スマートシティの推進	R7.7.1
KDDI株式会社	中村 映文	防災DX・観光DX	R7.11.1



▲連携協定を締結している企業一覧はこちらをご確認ください

山口市ずっと元気・ PFSプロジェクト

高齢者を対象に、魅力的なプログラムを提供することで、日々の生活の質を向上させ、社会参加を促進させることを目的とした実証事業を、株式会社YMF G ZONEプログラミングと令和7年度から行っています。

本事業では、市内の企業と協力し、高齢者向けの健康づくりにつながる教室などの開催や、こうした教室で実施されるプログラムの無料体験会などを実施する予定としており、令和12年11月まで実施します。また、この実証事業の運用には、新たな公民連携の手法として「成果運動型民間委託契約（PFS）※」を用いており、市内事業者の新しいサービス創出等による、地域経済の活性化も図ります。

※社会課題の解決を目的とした事業において行政が解決の指標を設け、その達成度に応じて委託事業者に報酬を支払うものです。



初のプログラム体験会を 開催します！

▼日時 2月21日（土） 9時30分～14時

▼場所 湯田温泉こんこんパーク（湯田温泉五丁目2・15）

▼内容 体を動かすプログラムのほか、脳トレやスマホ教室、ドローン操縦体験など、生活や趣味に役立つプログラムの体験を予定しています。

▼対象 市内在住の65歳以上の方（申し込み不要）

▼費用 無料

※詳細は下の二次元コードをご参照ください。



ふるさと納税



▲詳細はこちらをご確認ください

本市では、ふるさと納税の仕組みを活用し、市民の皆さんが支援したい事業や取り組み等に寄附ができる仕組みを構築しています。現在、「文化財保護」と「動物愛護」の分野において、寄附金の募集を行っており、寄附の際に指定された特定事業の支援に活用します。また、市内在住の方も寄附をしていただくことが可能です。（返礼品はありません。）



文化財を保護し、歴史・文化の継承に取り組みます。



飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費を助成し、動物愛護に取り組みます。

message.

公民連携で進める 「ずっと元気な山口」の実現

社会情勢の変化などにより、行政に対するニーズが複雑化、多様化している中、本市では、こうしたニーズへの対応や社会課題の解決に向けて、企業や大学などのさまざまな主体との連携を進めています。

今後、多様な主体と連携・協力し、地域課題解決や市民サービスの向上、新たな事業機会の創出等を図ることで、市民、企業等がずっと元気に活躍できるまちづくりを進めていきます。

市政トピックス



ウェブサイト
でも公開中

阿知須くりまさる「極」初出荷に伴い、阿知須かぼちゃ生産組合長らが市長を表敬訪問

「栗に勝る」として名付けられたかぼちゃ、阿知須くりまさるは、糖度13度以上の強い甘みと栗のようなホクホクとした食感が特長です。

令和6年度から阿知須くりまさるの中でも、3kg以上の大玉で外観秀麗なものを阿知須くりまさる「極」として、1玉ずつ化粧箱に詰めて出荷されています。今年度は、全生産量の0.4%という希少な逸品となりました。

阿知須くりまさる「極」の初出荷に伴い、阿知須露地野菜部会長兼阿知須かぼちゃ生産組合長の松崎繁秋さんらが、12月12日（金）に市長を表敬訪問されました。

松崎組合長は「『極』というブランドを作ったことが、生産者の気持ちの高揚にもつながっている。また、2人の新規就農者を迎えることもできた。今後も生産活動を盛り上げていきたい」と述べられました。

市長は「阿知須くりまさるは、どんな料理にも合う。今後も、皆さんが丹精込めて育てられた農産物をしっかりPRしていきたい。山口デス

ティネーションキャンペーンもあるので、山口に訪れた方にも味わっていただきたい」とこれまでの努力をねぎらいました。



▲「極」を手にする市長（左）と阿知須かぼちゃ生産組合の松崎組合長（右）

南部農林振興事務所 ☎083・973・2457

良城小学校合唱団「第78回全日本合唱コンクール全国大会小学生部門」金賞受賞

「第78回全日本合唱コンクール全国大会小学生部門」において、良城小学校合唱団が2年連続となる金賞を受賞された報告のため、12月22日（月）に市役所を表敬訪問されました。



▲良城小学校合唱団の皆さんによる合唱

合唱団団長を務める6年生の関谷美里さんは「練習を頑張り、絶対に金賞を取るという強い気持ちで大会に臨んだので、金賞を取ることができてうれしい。これから地域の皆さんに私たちの合唱を聞いてもらえる機会があるので、そこに向けて頑張っていきたい」と受賞の喜びと今後の目標を述べられました。

嶋壽教育部次長は、「歴史ある全日本合唱コンクールで金賞という優秀な成績を2年連続で受賞されたことをうれしく思います。先生やご家族など、皆さんを支えてくださる方々への感謝の気持ちを大切に、このたびの素晴らしい経験を一生の宝物として今後の人生に生かしてください」と、市長からのメッセージを伝えました。

学校教育課 ☎083・934・2862

表紙の写真 未来へ羽ばたく若者たち

表紙の写真は、「令和8年山口市二十歳のつどい」の様子です。人生の節目を迎えた方々をお祝いするとともに、「ふるさと山口」を誇りに感じていただき、家族や友人等への感謝の気持ちや、大人としての自覚を持つきっかけとしていただくことを目的に開催しています。

二十歳の皆さんがこれから歩む道は、それぞれ異なることでしょう。しかし、どこにいても、この地で培った力や人とのつながりは、人生を支える大切な財産となるはずです。

どうか自分らしく、堂々と人生を歩んでください。そして、いつか皆さんがさまざまな経験を積んで成長した時、再びこのまちに新しい風を吹かせてくれることを期待しています。

「ふるさと山口」は、これから花ひらく皆さんの人生の土台であり、いつまでも応援団でありたいと思います。

広報広聴課 ☎083・934・2753



▲小雪の舞う中、再会を喜ぶ二十歳の皆さんの熱気で、会場は大いに盛り上がりしました。



美祿 秋吉台山焼き

秋吉台に春を呼ぶ風物詩「山焼き」は、100年前から続く、日本最大規模の山焼きです。

日時 2月11日(水・祝)

場所 秋吉台国定公園(秋芳町秋吉 11237-862)

問 秋吉台山焼き対策協議会
☎ 0837-52-1115



▲詳細はこちら

萩 萩・椿まつり

例年2月中旬から3月下旬ごろ、約25,000本のヤブツバキが花を咲かせます

期間 2月21日(土)～3月22日(日)

場所 笠山椿群生林(椿東越ヶ浜虎ヶ崎)
問 萩・花ごよみ実行委員会事務局(萩市観光課内) ☎ 0838-25-3139



▲詳細はこちら

津和野

数々の書簡からたどる 鷗外の妻・志げ～没後90年～

当館が所蔵する、鷗外から志げに宛てた数多くの書簡を中心に、鷗外と志げとの関係をたどります。

期間 2月17日(火)～4月26日(日)

所 問 森鷗外記念館(町田イ 238)
☎ 0856-72-3210



▲詳細はこちら

山陽小野田

山陽小野田市ふるさと文化遺産「コーストウォーク」登録記念企画展「本山半島の歴史」

山陽小野田市ふるさと文化遺産「コーストウォーク～海岸線からみる情景～」が令和7年5月に登録されたことを記念し、開催するものです。

期間 2月6日(金)～3月24日(火)

所 問 山陽小野田市歴史民俗資料館(栄町9-21) ☎ 0836-83-5600



▲詳細はこちら

宇部

UBE 現代日本彫刻展 2027 応募模型展

2027年秋開催のUBE 現代日本彫刻展2027に向けて、世界中から寄せられた野外彫刻模型を公開します。

期間 2月8日(日)～3月8日(日)

場所 ときわ湖水ホール(沖宇部254)
問 宇部市文化振興課 ☎ 0836-34-8562



▲詳細はこちら

防府

梅まつり

防府天満宮の境内には、しだれ梅や紅白梅など約16種類、1,100本の梅の木があります。開花時期に合わせてさまざまな行事を行います。

期間 2月15日(日)～3月1日(日)

場所 防府天満宮(松崎町14-1) ほか
問 防府天満宮 ☎ 0835-23-7700



▲詳細はこちら

毎年夏と秋の2回、湯田中学校の生徒と地域の方々、VS活動で足湯や公園等の清掃に汗を流す光景は、地域ではおなじみとなりました。この活動では、「こころは草取りが中心」「足湯はタワシで磨く」など詳細な記



▲湯田温泉の足湯の清掃

維新の志士たちも訪れた名湯・湯田温泉は、県内最大の宿泊拠点として、市内外から多くの人々をお迎えしています。また、昨年オープンした湯田温泉こんこんパークは、市民と観光客の新しい出会いと憩いの場になるなど、湯田地域は、地域住民、訪れる人々、双方にとって心温まる場所として、その魅力を受け継いでいます。

今回は、中学校で取り組まれているVS活動※についてご紹介します。※ボランティアサービス活動(他者や社会のために自ら気付き、考え、実行する活動)

◆VS活動から広がる地域の絆◆

21地域リレーコラム

vol.3

湯田地域

個性豊かな市内21の地域。それぞれの地域で取り組んでおられる魅力ある活動等をリレー形式で紹介いたします。
問 広報広聴課 ☎ 0833・934・2753

録が、先輩から後輩へと確実に引き継がれています。VS活動は、「湯田で育ったことを誇りに思ってもらいたい」という学校・地域共通の願いと、生徒の主体性が両輪となつて、約20年の長きにわたつて地域に根付いています。

また、昨年4月には、地域からの「手伝つて」の声に機動的に対応するため、中学生有志によるVSC(ボランティアサービスクラブ)も組織され、地域の運動会やお祭りなど、さまざまな活動に中学生が関わり、世代を超えた地域コミュニティの絆をさらに深めています。

「中学生が頑張っている姿を見ると元気が出る」という声や「湯田温泉を旅行中、中学生のあいさつが大変気持ちよかった」という手紙が届くなど、生徒たちの活動が地域の魅力を大きく向上させています。



▲一緒に活動することで地域の絆が深まります

次回は**仁保地域**にリレーします！

市内各地域の情報が掲載された「地球の歩き方 山口市」も販売中。



イベントカレンダー

2/13 (金) ~ 15 (日)

ふおとくらむ写真展
山口の写真家達

所 山口市菜香亭
☎ 083-934-3312

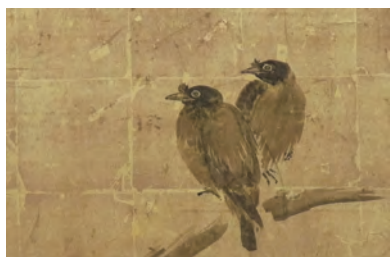
山口のカメラ好きによる、
組み写真での写真展です。
個性の違いを楽しんでいただければ幸いです。

2/14 (土)

ミニ講座「屏風をたのしむ」

所 歴史民俗資料館
☎ 083-924-7001

当館所蔵の屏風を、通常の
蛍光灯とろうそくのような
やわらかい明かりで照らし、
その見え方の違いを比較し
ながら鑑賞します。



2/14 (土) ~ 3/30 (月)

山口の幕末の偉人
5人をさがせ!

所 十朋亭維新館
☎ 083-902-1688

館内に設置された、5問の
“なぞとき”に挑戦して、「山
口の幕末の偉人5人」のミ
ニパネル5枚を見つけ出し、
各パネルに示された文字を
1文字ずつ集めてキーワ
ードを完成させてください。
オリジナルグッズをプレゼ
ントします。

2/15 (日)

れきみんファミリーデー

所 歴史民俗資料館
☎ 083-924-7001

毎月第3日曜日は、れきみ
んファミリーデー!
子ども向けギャラリートー
クや昔のくらしを体験でき
ます。2月のテーマは「炭
火アイロン・火鉢」です。



2/21 (土)

あぐまるやまぐち

所 平成公園 (小郡平成町 4-1)
※荒天時は新山口駅北口駅
前広場にて開催します

所 農業振興課
☎ 083-934-2817

やまぐちの新鮮で旬な野菜
や、さまざまな加工品を生
産者から直接購入できるマ
ルシェイベントです。

開催中のイベント

3/30 (月) まで

萬代家コレクションで楽しむ
春夏秋冬

所 十朋亭維新館
☎ 083-902-1688

萬代家コレクションの中か
ら、季節を感じさせる書画
や茶器・食器等をよりすづ
つて紹介します。



木菟 (ミミズク) 形香炉

二十歳のつどい

2026年も早いものでひと月が過
ぎ、新しい春の始まりとされる「立春」
を迎えようとしております。

先月の11日に開催した今年の「山口
市二十歳のつどい」の対象者は、新市
が誕生した平成17年度生まれの方で、
新市と同じく20年を歩んでこられた
皆様をお祝いできましたことは、大変
感慨深いものでありました。

晴れて二十歳を迎えられた皆様は、
これから、それぞれの夢に向け進んで
行かれることと

思います。ふ
るさと山口の地
で家族や地域の
皆様などから注
がれた愛情を忘
れず、いつまでも
「自分らしさ」を
持ち続けていた
だきたいと思いま
す。



新市発足20年を迎えた本市におい
ても、本年は、合併モードのまちづく
りから新たなまちづくりのモードへの
移行を図る年としていきます。二十歳の
皆様と同様に、これまで支えていただ
いた市民の皆様へ感謝をいたしながら、
自然や歴史・文化など「山口らしさ」全
開のまちづくりを共に進めてまいりた
いと思います。

山口市長

伊藤和貴

